

松島湾アマモ移植作業①

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所

状況写真	解説
	<p>実施日：平成28年5月22日 実施者：E-TEC 会員他 8名</p> <p>今回は、独立行政法人環境再生保全機構さまからの助成金により、松島湾でのアマモ移植作業を行いました。私共の活動は地元漁協関係者のご理解とご協力により成り立っております。今回もあちこち移動し、わがままにつきあっていただきました。いつもありがとうございます。</p>
	<p>ダイバーさんがアマモの株を採取しています。干潮時の作業ですが、株ごと採取するために潜水装備が必要です。この場所も5年前の震災で、アマモは壊滅状態でしたが、自然再生してほぼ震災以前の状態に戻っています。大きなコロニーの端の部分からすこしだけ母草を分けてもらいます。</p>
	<p>船上では、採取したアマモの移植のために準備作業を行いました。ここでは多くのスタッフが活躍します。</p> <p>作業中はアマモが乾燥しないように海水をかけたり、手早く作業したり……。細かな配慮が必要です。</p>

松島湾アマモ移植作業②

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所

状況写真	解説
	<p>移植の準備ができました。 植栽の方法は我々が考え出した『松島方式』です。既存の文献にある方法とはちょっと違ったオリジナル法です。</p>
	<p>ダイバーさんが、ブイの周辺に移植していきます。 移植作業を実施した場所は、震災後の自然再生が全く認められず、人工移植によるお手伝いが必要と考えました。 今後は、秘密兵器(?)を使用して生育状況を観測していきます。</p>
	<p>これは自然に再生したアマモ場です。でも自然のアマモ場は震災前の2割に及びません。 我々の活動により、このような藻場が形成されていくことを心から願っています。</p>